



『盲導犬クイールの一生』

秋元良平／写真 石黒謙吾／文
文藝春秋

ラブラドル・レトリバーの子犬は、わき腹のカモメの模様から「ジョナサン」と名付けられました。やがて生まれ育った家を離れ、名前も「クイール」となり、立派な盲導犬となるよう訓練センターへ預けられます。盲導犬の生涯をモノクロの写真と共に綴ります。



『ルドルフとイッパイアッテナ』

齊藤 洋／作 杉浦範茂／絵
講談社

ルドルフは、ある日思いもかけず東京に来てしまいました。そして、そのボス猫のイッパイアッテナと出会い、とびきりゆかいなノラ猫生活が始まったのです。猫同士、また、猫と人間との愛情を味わうことができる一冊です。



『れいぞうこのなつやすみ』

村上しいこ／さく 長谷川義史／え
PHP研究所

暑い夏のある日、ぼくの家の冷蔵庫がしゃべった！「わたしも夏休みをもらってプールへ行ってみよう」人間だけじゃなく、みんな夏休みが欲しいらしい。女の子だった冷蔵庫と、けんいち一家のゆかいで楽しい3日間の物語。



『わすれられないおくりもの』

スーザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／やく
評論社

誰からも慕われていたアナグマが年をとって死んでしまいました。友達を失ったみんなは、悲しみをどう乗り越えたらよいかわかりません。でも、つらい冬を過ごし、春になり、みんなはアナグマがすてきなプレゼントを残してくれたことに気づくのです…。